

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理への取組		事業開始年度	平成20年		作成責任者
担当部署	研究振興局		担当課室	ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室		安全対策官 渡辺 栄二
会計区分	一般会計		上位政策	科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	科学技術基本計画(第3期)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ヒト胚及びヒト胚性幹細胞(ヒトES細胞)、クローン技術並びに遺伝子組換え実験等の最先端のライフサイエンス研究に関する規制に関し、研究の進展状況を踏まえた施策への反映、事業者への法令等の周知による法令等の遵守の徹底等を図り、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和に貢献する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学技術の社会的信頼を獲得するため、ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理に関する諸課題に対する調査検討、法令等の説明会の開催、実施状況調査等を実施する。					
実施状況	ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理に関する諸課題に対する調査検討、法令等の説明会の開催、実施状況調査等の実施により、ヒトES細胞研究及びクローン研究に関する指針等の改正や遺伝子組換え生物等規制法に基づく告示の改正など、関係法令・指針の整備・運用を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	34	35	21	22	-
	執行額	25	19	16		
	執行率	72.6%	54.1%	74.6%		
	総事業費(執行ベース)	25	19	16		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	・本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにライフサイエンス研究の実施を計画している者を対象とした、関係法令等の説明会の実施方法等の在り方を検討する。</li> <li>・法令等の制定・改正を行った際に、ライフサイエンス分野の研究者が適切に法令等の運用を図れるよう、説明会の実施方法等の在り方を検討する。</li> <li>・科学技術の進展状況や社会動向等を踏まえ、適宜法令等の整備の必要性等について検討する。</li> </ul>				
予算監視の効率化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業評価の観点:この事業は、ライフサイエンス研究の発展と社会の調和に貢献するための調査検討等を行うものであり、毎年度の予算の執行率が低くなっている。</li> <li>2. 所見:ライフサイエンスに関する調査検討等を行う事業は本事業以外にも存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算を縮減すべきである。</li> </ol>					
補記						

A. 文部科学省  
16百万円

非常勤職員手当 10百万円  
庁費 3百万円  
職員旅費 2百万円  
委員等旅費・諸謝金 1百万円 } を含む

科学技術の社会的信頼を獲得するため、ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理に関する諸課題に対する調査検討、法令等の説明会の開催、実施状況調査等を実施する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A. 文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
非常勤職員 手当	非常勤職員手当	10			
庁費	会議開催費等	3			
職員旅費	法令等実施状況調査等	2			
委員等旅 費・諸謝金	会議出席旅費等	1			
計		16	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0